News Release
報道関係各位

2026 年 11 月 25 日
株式会社アドバンスト・メディア

アドバンスト・メディア、中国の大手ボイステック企業 AISPEECH と 日本市場における戦略的協業を開始

～協業第一弾！*AmiVoice*®を実装した AI タブレット「AISPEECH AINOTE A2」などを展開～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、中国の大手ボイステック企業 AISPEECH（本社：中華人民共和国蘇州、CEO：高始興 以下、AISPEECH）と、日本市場における戦略的協業を開始しました。

本協業を通じて、両社の強みを活かした製品・ソリューションの展開を推進し、日本市場における新たな事業機会の創出を目指します。協業第一弾として、AI 音声認識 AmiVoice を実装した AI タブレット「AISPEECH AINOTE A2（エーアイスピーチ エーアイノート エーツー）」を日本市場で展開します。

Advanced Media, Inc.
株式会社アドバンスト・メディア

AISPEECH

■協業の背景

近年、企業における AI 活用は急速に進展しており、総務省の発表によると、国内企業の「議事録・メール作成補助」の業務において、71.2%が何らかの形で生成 AI を活用しています。[※1] また、社内会議や商談、外出先での打ち合わせなど、さまざまなビジネスシーンで会議内容を記録・共有する機会が広がっています。さらに、対面やオンライン、ハイブリッドなど、会議の開催形式が多様化する中、録音から文字起こし、要約までを手軽に行い、議事録作成の負担を軽減できるツールへのニーズが高まっています。こうした背景を受け、AI を活用して会議の生産性向上や業務効率化を支援するソリューションへの注目が高まっており、AI を搭載した会議デバイスの活用も広がっています。

■戦略的協業の概要

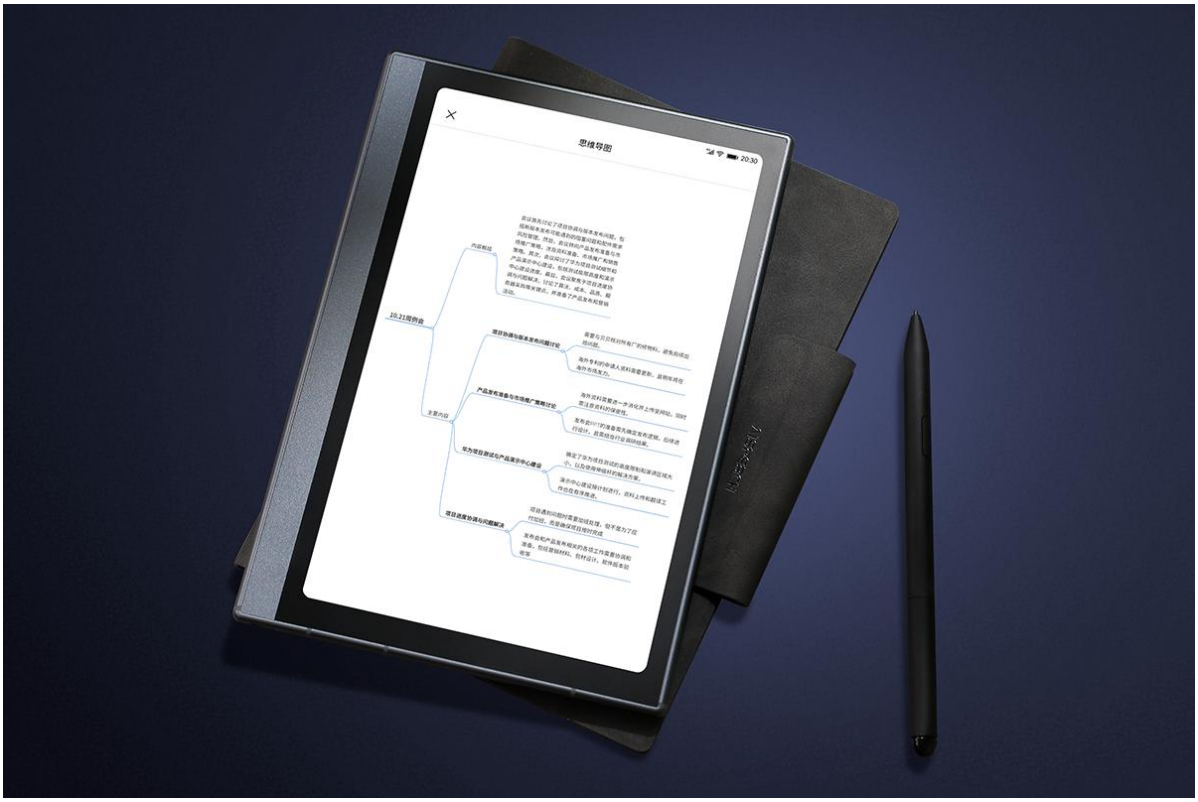
そのような中、アドバンスト・メディアと AISPEECH は、日本市場における戦略的協業を開始しました。本協業では、アドバンスト・メディアが約 30 年にわたり培ってきた AI 音声認識技術や国内での豊富な導入実績・知見と、AISPEECH の AI 技術とハードウェア・ソフトウェアの開発力を組み合わせ、国内のニーズに応じた製品・ソリューションの提供を目指します。

協業の第一弾として、国内シェア No.1[※2] の AI 音声認識 AmiVoice を実装した AI タブレット「AISPEECH AINOTE A2」を日本市場で展開します。

■協業第一弾「AISPEECH AINOTE A2」の概要

「AISPEECH AINOTE A2」は、音声の録音から文字起こし、AI 要約、議事録作成までを 1 台で行える AI タブレットです。日本語の音声認識に採用されている「AmiVoice API」は、当社が約 30 年にわたる

研究開発で培った技術を活用した高精度な AI 音声認識 AmiVoice を、アプリケーションや Web サービスなどに簡単に実装できる API サービスです。専門用語や固有名詞を含む会議内容も高精度にテキスト化でき、専門性の高い会議から日常的な打ち合わせまで、幅広いビジネスシーンで利用できます。AI による要約やアクション抽出、議事録の共有・検索などの機能を備え、会議内容の記録・整理から、その後の業務への活用までを支援します。録音から議事録作成までを 1 台で手軽に行えるだけでなく、会議で得られた情報を日常業務につなげることを目指しています。
本製品は、日本市場での認知拡大とユーザーニーズの把握を目的に、応援購入サービス「Makuake」にて 2026 年 12 月 17 日（木）から販売を予定しています。今後は、先行販売を通じて得た市場の反応やニーズを踏まえ、販売チャネルの拡大を進めてまいります。



■両社のコメント
この度の、AISPEECH とアドバンスト・メディアとの戦略的協業を正式に発表できることを大変嬉しく思います。AISPEECH は長年にわたり音声 AI およびスマートハードウェア技術の革新に取り組んでまいりました。一方、アドバンスト・メディアは日本の音声認識分野をリードする企業です。両社の技術力と市場経験を融合することで、日本のお客様により便利で効率的な AI 製品・サービスを提供できると確信しています。
今回発表する「AISPEECH AINOTE A2」は、両社の協業の第一歩です。今後はスマートオフィス分野にとどまらず、スマートモビリティやスマート IoT、教育など、より幅広い領域へと協業を拡大し、日本市場における AI 技術の普及と発展を共に推進してまいります。そして、お客様にさらなる価値を提供していきたいと考えています。

Co-Founder / Overseas Business Director　鄒 平

この度、AISPEECH と戦略的協業を開始できることを大変嬉しく思います。
当社が長年培ってきた AI 音声認識技術と国内市場での豊富な知見に、AISPEECH の AI 搭載ハードウェア・ソフトウェアの開発力を組み合わせることで、新たな価値を提供できると考えています。

協業第一弾となる「AISPEECH AINOTE A2」を通じて、より多くの方が日常業務の中で手軽に AI を活用できる環境を提供するとともに、今後はさまざまな分野で協業を深め、日本市場における新たな事業機会の創出を目指してまいります。

アドバンスト・メディア 取締役 事業本部長 兼 海外事業部 部長　大柳 伸也

■「AISPEECH AINOTE A2」の主な特長

1.　専門用語や固有名詞にも対応した高精度な音声認識

日本語の音声認識には、アドバンスト・メディアの音声認識 API「AmiVoice API」を採用しています。金融・保険・医療などの専門用語や固有名詞を含む会議内容も高精度に認識し、リアルタイムでテキスト化することが可能です。さらに、話者識別機能により発言者ごとに内容を整理でき、会議の振り返りを支援します。

2.　AI による要約・アクション抽出で会議後の業務を効率化

録音した会話内容をもとに、AI が議論の要点や決定事項、ToDo などを要約・図解化した「会議録」を自動生成します。さらに、判断材料や潜在的なリスク、次に取るべきアクションを提示する「AI インサイト」により、会議後の情報整理や意思決定を支援します。

3.　録音・文字起こし・手書きメモを 1 台で手軽に活用

音声の録音やリアルタイム文字起こしを行いながら、気になるポイントを手書きでメモできます。手書きの文字をテキストデータに自動変換することも可能で、会議内容とあわせて一元的に記録・管理を実現します。コンパクトで持ち運びやすく、社内会議や商談、外出先での打ち合わせなど、さまざまな場面で手軽に利用できます。

4.　カメラで撮影した画像内の文字・図表を AI が自動で認識・抽出

カメラで撮影した画像内の文字や図表を AI が自動で認識・抽出し、見やすく補正します。急いで文字を打つ必要がなく、情報を迅速に整理し、会話内容の振り返りや共有をスムーズに行えます。

5.　会議情報の共有・検索を効率化

作成した議事録や会議データは、メールアプリやクラウドストレージなどを通じて、PC・スマートフォン・タブレットなどのデバイスと共有できます。また、AI アシスタントに質問することで、過去の会議内容や業務情報の検索・確認、ファイルの要約・分析、ToDo の作成なども行えます。

6. 日本国内でのデータ保存と会議情報の保護に対応

会議データは日本国内のサーバーに保存されます。また、議事録ごとのパスワード保護設定に対応しており、機密性の高い会議内容やビジネス情報の管理に配慮した設計となっています。さらに、通信・保存時の暗号化、アクセス権限の管理、データ管理措置を通じて、データの処理・保存・共有における安全性を確保します。

■「AISPEECH AINOTE A2」販売概要

販売形態	応援購入サービス「Makuake」での先行販売
販売期間	2026 年 12 月 17 日（木）～2027 年 2 月下旬
販売予定価格	108,900 円（税込）
予告サイト	https://www.advanced-media.co.jp/ainotea2/ ※Makuake での販売 URL は、後日お知らせいたします。

■AISPEECH 製マイクを活用した製品・ソリューション展開

AISPEECH は、会議や商談など複数人の発話を高精度に収音できるマイク製品を展開しており、音声認識との組み合わせによる会議 DX を強みとしています。今後、両社は AISPEECH 製マイクとアドバンスト・メディアの AI 音声認識 AmiVoice を活用した各種ソリューションを組み合わせ、幅広い用途に対応した製品・サービスの展開を目指します。

まずは、大規模会議や役員会議、一般会議室での定例会議、少人数の打ち合わせなど、会議規模や利用シーンに応じたマイクと音声認識ソリューションをセットで提供し、導入をワンストップで支援します。さらに、将来的には当社が提供するさまざまなソリューションとの組み合わせを視野に入れ、活用領域の拡大を目指してまいります。



（左）MA600D　大規模会議室・役員会議　（中）M12 Pro　一般会議室・定例会議
（右）M6 Pro　少人数の打ち合わせ

■今後の展望

今後、両社は協業第一弾となる「AISPEECH AINOTE A2」の日本市場での普及を推進するとともに、AI 音声認識 AmiVoice を活用した各種ソリューションとの組み合わせなどを通じて、協業をさらに発展させてまいります。

本協業における今後 3 年間の事業目標として、タブレットの売上高 5 億円以上を掲げています。

また、AISPEECH はスマートモビリティ、スマート IoT、教育など幅広い領域で事業を展開しています。これらの分野で培ってきた知見と、アドバンスト・メディアの AI 音声認識技術を活かし、新たな事業機会の創出を目指してまいります。

■「AmiVoice API」について



「AmiVoice API」は、日本語音声認識の研究・開発を 30 年近く続けてきたアドバンスト・メディアが提供する、国内シェア No.1[※2] の音声認識エンジン「AmiVoice」の API サービスです。API 連携により、音声認識機能を簡単にアプリケーションに実装できます。日本語特有の言い回しや専門用語に強く、リアルタイムでの文字起こし、固有名詞・社内用語の単語登録、フィラー（「えっと」「そのー」など）の自動

削除など、役立つ機能を備えています。「AmiVoice Cloud Platform」から登録でき、毎月 60 分まで無料で利用できます。

AmiVoice Cloud Platform	
Web	https://acp.amivoice.com/

■AISPEECH について

AISPEECH は、2007 年に英国ケンブリッジで創業し、2008 年に中国へ移転したボイステック企業です。本社は中国・蘇州に所在し、フルスタック対話型 AI・エッジ AI を自社開発しています。スマートモビリティ、スマートオフィス、スマート IoT、教育の 4 領域を中心に、端末・クラウド連携、ソフト・ハード一体で事業を展開しています。

2024 年の売上高は 6.01 億元（約 120 億円）、従業員数は約 800 名、発明特許は 700 件超に上ります。中国国内に加え、米国や日本などへのグローバル展開も進めています。

https://en.aispeech.com/

※1　出典：総務省「令和 8 年版 情報通信白書」第 I 部 第 2 章 第 1 節、図表 I -2-1-7「業務別の生成 AI 活用状況」

※2　出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場（2025 年度見込）

以上

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代　表　者：　代表取締役会長兼社長　鈴木　清幸

本　　社：　東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U　R　L：　https://www.advanced-media.co.jp/

設　　立：　1997 年 12 月

資　本　金：　69 億 3031 万円（18,392,724 株）（2026 年 9 月末現在）

事 業 内 容：　◆企業および企業内のユーザーや一般消費者へ AI 音声認識アミボイスをサービス利用の形で提供する「サービス事業」
◆AI 音声認識アミボイスを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆AI 音声認識アミボイスを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専業の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」（2025 年度見込））の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係
経営推進本部　広報グループ ・TEL：03-5958-1307